

# 新宿区立若松地域センターにおける 東京都立総合芸術高等学校の生徒の作品展示

新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの地域イベントが中止となる中、「コロナ禍でも実施可能な事業はないか?」という観点から、若松地域センター管理運営委員会が総合芸術高等学校と連携した新規事業を立ち上げました。総合芸術高等学校の生徒の作品展「沈殿(1年次展)」「me展(2年次展)」から3点ずつ作品をお借りし、若松地域センターに展示しました。コロナ禍だからこそ実現した本事業について、来場者からは「もっとたくさんの作品を展示して欲しい。」「作品から、その才能に驚きました。今後も続けてください。」等の感想をいただきました。

【展示場所】若松地域センター2F廊下

【展示期間】令和4年3月15~22、28日



▲「無題-は」中村都麦さん(2年)



▲「home」畠山香子さん(2年)



▲「17歳(はじめての終活)」松田凜さん(2年)



▲「泣く少女」松尾典汰さん(1年)



▲「ひと」田辺朔葉さん(1年)



▲「追われ 潜み 雲隠れ」赤根穂乃華さん(1年)

## 【若松地域センター管理運営委員会 野尻会長】

平時は無機質な廊下が、瞬時に華やかで温かい雰囲気画廊に変貌し、皆から歓声が上がりました。私自身、改めて作品と向き合いました時に、どの作品も、生徒さん方が丁寧に創り上げた渾身の作であると感じ、新たな感動が湧き上がって参りました。

初年度は臨時事業として実施しましたが、令和4年度からは予算化し、継続事業とするべく、総合芸術高等学校と調整させていただいています。

